

# 「花の種銀行」便り

第26号

H25.8.1



「花を育て隊」の皆さんに植えていただいた城跡公園(憩いの広場)の花壇です。

## 第7回「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します

花づくりを通じて、美しく潤いのある快適なまちづくり、地域づくりを進めるため、今年も「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します。

自薦、他薦は問いませんので、花づくりをされている皆さまのご応募（特に個人部門）をお待ちしています。

### <対象>

団体部門...自治会・育成会などの各種団体が管理する道路沿いの花壇、プランター等

個人部門...個人が管理する庭や玄関アプローチ、壁面など

学校部門...学校や緑化委員会などが管理する花壇、プランター等

**応募期間内～審査時まで咲いている花が対象です。**

### <応募方法>

公園緑地課または丸子・真田・武石の各地域自治センター建設課にある応募用紙に必要事項を記入し、写真を添えて応募してください。

### <応募期間>

平成25年7月16日(火)から8月13日(火)まで

詳しくは上田市役所公園緑地課までお問い合わせください。(電話：0268-23-5134)



## パンジー・ビオラを種から育ててみましょう

これまで行われてきた「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編)の中から、パンジー・ビオラの育て方のポイントをご紹介します。秋の種まきの参考にしてみてください。

### ～ 種まき ～

プランターなどに「プランターの土」または「培養土」を入れる。ジョウロで水をくれ、水がしっかり浸透するようよく湿らせ、端までしっかり平らにする。(種をまいた時に偏らないように)

1 cmに種1粒が落ちるぐらいにまき、上に1 cmほど土をかける。(覆土はパーミキュライト(細かいもの)がお勧め)発芽する(10日後くらい)までは土の表面が常に湿っている状態にし、絶対に水を絶やさない。直接雨に当たらないようにし、日光にしっかり当てる。

### ～ ポット上げ ～

葉が4枚(双葉と本葉)出てきたらポット上げる。(この時期が種まきから約40日後)

プランターから苗を取り出す時は、苗をひっぱり上げず、プランター強く揺するなどして土ごと出す。この時根を切らないよう注意する。

### ～ 植え付け ～

ポットの底の穴から根が出たら、地面やプランターに植え付ける。(ポット上げから約1ヵ月後)

地面の場合は化成肥料を、プランターの場合は赤玉土6：腐葉土4に緩効性肥料を混ぜて植える。多肥料に注意する。

苗の時期はよく日の当たる場所へ置きますが、強い雨に直接当たらないよう注意しましょう。また、冬は根腐れしないように水はけのよい土を使い、3月以降、徐々に水やりを増やしていきます。

パンジー・ビオラは寒さに強いので、外でじっくり冬越しさせて、春に丈夫できれいな花を咲かせましょう。ビオラのほうがより寒さに強く育てやすいと言われています。

より詳しくパンジー・ビオラの育て方を知りたい方は、ぜひ、8月28日に行われる講習会にご参加ください。花づくりの基本がマスターできますよ。



## 病害虫の防除をしましょう

病害虫を防ぐには、植物を健全な状態で維持しておくことが大切です。軟弱な株には病気や害虫が発生しやすくなります。日ごろから株をよく観察し、病害虫に気づいたらすぐに適切な対処をすると、被害を最小限にとどめることができます。

**病気には** 病気の原因はおもに菌、細菌、ウイルスに大別されますが、もっとも多いのが菌(かび)による病気で、うどん粉病、黒斑病などが全体の80%に当たります。症状が最初に出やすいのは、まだ柔らかく、小さくて弱い新芽や若葉、つぼみなどですが、一度病気に侵された株は元に戻らないので、株ごと抜いて処分します。

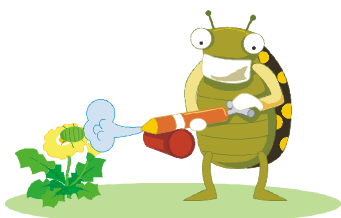
**害虫には** 害虫の一般的な駆除方法は殺虫剤の散布ですが、むやみに散布すると植物や人への害も心配です。数が少ない時は、ピンセットや手、紙粘着テープで捕殺する方法で充分対応できます。害虫は植物の養分を吸い取るばかりでなく、他の病気を媒介したりします。害虫を見つけたら早めの駆除を心がけましょう。

### アブラムシを予防、退治する方法

**反射光で予防...** アブラムシはキラキラした反射光を嫌うので、株元に銀色マルチを敷いたり、アルミホイルや銀色テープを周辺に垂らしておく。

**薬剤で駆除...** 大量発生した場合は、なるべく早期に殺虫剤を散布。卵を見つけたらすぐにつぶすこと。病気・害虫の両方に対応したスプレータイプの製品や、株元にバラまく粒剤タイプの製品もあります。(同じ薬剤(成分)を続けて使用しないこと)

**その他...** 牛乳を噴霧する、天敵(テントウムシなど)を利用する、環境を整える(風通しを良くする、肥料を控える)など様々な方法がありますので、いろいろ組み合わせてください。



## 「種から育てる花づくり講習会」を開催

元上田市農業バイオセンター所長の武田正男先生を講師にお迎えし、3月26日に花づくりの基本について、5月10日に実際の種まきの仕方についての講習会を開催しました。

### 3/26 基本編・花を知ろう！編（34名参加）

花の特徴や上田に適した花づくりを、気温や土の種類・肥料などの基本的なことから教えていただきました。

#### <参加者の声>

「スライドによる説明がわかりやすかった」  
「大変参考になりました。次回も楽しみです。」  
「今後もぜひ武田先生をお願いします。」

### 5/10 春の種まき実技編（15名参加）

先生から種まきのポイントについて説明を受けた後、種まきを実際に行い、マリーゴールドのポット上げも体験していただきました。

#### <参加者の声>

「基礎を知らなかったのでいろいろ勉強になった」  
「土づくり、肥料、挿し芽の仕方がよくわかった」  
「発芽までの管理やその後の水くれが参考になった」

## 「花を育て隊」夏苗の植え付けをしました

今年も花壇に夏苗の植え付け作業を行いました。常田新橋に1,700本、上田駅前に1,700本、上田城跡公園に3,000本、計6,400本を、6月1・13・14日の3日間で「花を育て隊」の皆さまに植え付けしていただきました。参加してくださった皆さまのおかげで、マリーゴールドやサルビア、ペチュニアなど色とりどりの花々が、夏の花壇を華やかに彩っています。

植え付けに参加してくださった皆さま、暑い中ありがとうございました。



13日には聖マリア幼稚園の園児も参加してくれました。



14日は城跡公園の花壇へ植え付け。早く咲かないかなあ～。

## あなたも参加してみませんか？

「花を育て隊」のボランティアは常時募集しております。

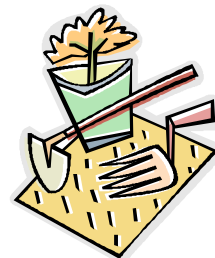
参加ご希望の方は電話、FAX、はがき等で公園緑地課までお申し込みください。

作業日程をご連絡しますので、都合のよい日にご参加ください。

花好きのみなさんとおしゃべりしながら、楽しく作業しませんか？

作業に参加していただいた皆さまには、ささやかではありますが、花の苗などのお土産を差し上げています。ご自宅でもきれいな花をぜひ咲かせてください。

次回はピオラのポット上げを予定しております。



## 秋まきの種、用意しました！

花の種銀行では、これから種まきをする秋まきの種をご用意し、皆さまをお待ちしています。

アグロステンマ、イソトマ、かすみ草、金魚草、金せん花、シネリリア、シノグロッサム、宿根ネメシア、スイートピー、ネモフィラ、ノースポール、花菱草、葉ポタン、パンジー、ビオラ、ポピー、モイワナズナ、ルピナス、ロベリア、ワスレナグサなど



## 「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編)開催

**パンジー・ビオラが花づくりの基本になりますので、初心者の方、ぜひご参加ください**

日 時・・・8月28日(水) 午前9時30分～11時30分(受付9時～)

場 所・・・国分寺史跡公園(資料館西側の藤棚前広場...休館日)

講 師・・・武田正男さん(元上田市農業バイオセンター所長)

申込み・・・8月26日(月)までに電話で公園緑地課へ

内 容・・・気候・土や肥料など花づくりの基本、秋の種まきのポイント【講義】  
種まき・ポット上げ【実習】

持ち物・・・実際に種まきをしていただきますので、次のものを御持参ください

- ・土(市販の「プランターの土」または「培養土」)
- ・種をまく容器(プランター・鉢など・・・深さが7～10cmあれば十分です)
- ・種(好きな種を持参するか、事前に「花の種銀行」を御利用ください)
- ・筆記用具



**屋外での講習になりますので、帽子など暑さ対策をお願いします。**

花を育てるのはつくづく難しいと思う。花の種銀行から何度か種を借り、花を育てたが、今のところ4勝3敗といったところか。

昨年の秋、ビオラの種まきをした。昨年の夏も暑かったので、多少遅らせてまいた方がいいのでは、と勝手に思い込み、本来の種まきの時期より2週間ほどずらしてまいた。そのせいか、苗の生長が遅く、ポット上げてからもあまり大きく育たなかった。プランターへの植え付けは春にしようと思い、ポットのまま冬を越させることにした。

冬...ビオラは寒さに強いというが、例年より寒さが厳しかったし苗が小さかったので、特に寒い日や雪の日はダンボールで覆ったり、水のやりすぎに注意する。しかし冬の間に半数近くの苗がダメになる。少々焦る。

春...なんとか残った苗をプランターに植える。大きくならないままひとつ、またひとつと苗が枯れ始める。これはまずい。非常に焦る。

そして花を咲かせることなく、ついにすべての苗が枯れてしまったのである。その前の年はちゃんと咲いたのに。種まきの時期か？ダンボールがまずかったのか？よけいなことをしたのが悔やまれた。

ちなみにビオラが枯れた後、プランターが寂しいので、ミニトマトとピーマンの苗を植えた。両方とも元気に育ち、特にトマトはお弁当の彩りに大活躍である。初めての野菜だが、これはこれで結構楽しかったりする。

そしてやはりビオラである。今年の秋こそ、万全の態勢でビオラの種まきに臨み、来年の春には見事可憐な花を咲かせてやろうと、ひとり密かにリベンジを誓うのだった。(YU)

